

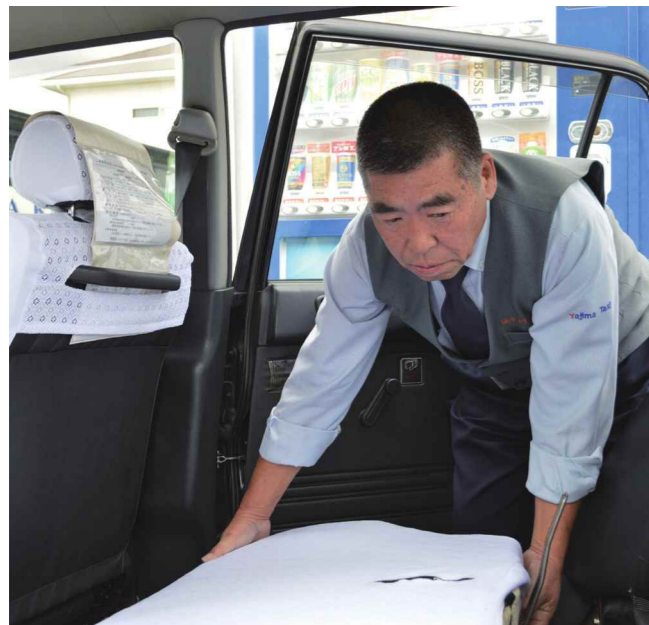
経験値を評価し65歳を超える雇用にも対応

# 株式会社 矢島タクシー

太田市



太田市の矢島タクシーは65歳の定年の壁にとらわれない柔軟な雇用を実現している。働く側と雇う側が相談のうえ雇用形態を決定。双方がメリットを得られるシステムである。



丁寧にタクシーの室内を整えて乗務の準備



子どもの頃からバスを運転するのが夢だったと語る乗務員

## ●活動内容

「この歳で働けるので、感謝している」と語るのは、平成26年の4月から大泉町で運行を始めたデマンドバスの乗務員。利用者は65歳以上である。

デマンドバスとは、路線バスのように決まった時間に同じルートを走るのではなく、前日までの予約状況によりルートを決める乗り合いバスのこと。乗客は、一人でバスの乗降が可能であることが条件で、利用者は70代～80代が多く、最高齢は90歳を超える。

運転手は3名のローテーションで、いずれも70歳前後のベテランである。このうち一人はスクールバスの乗務員を定年退職した後、デマンドバスの担当になった。

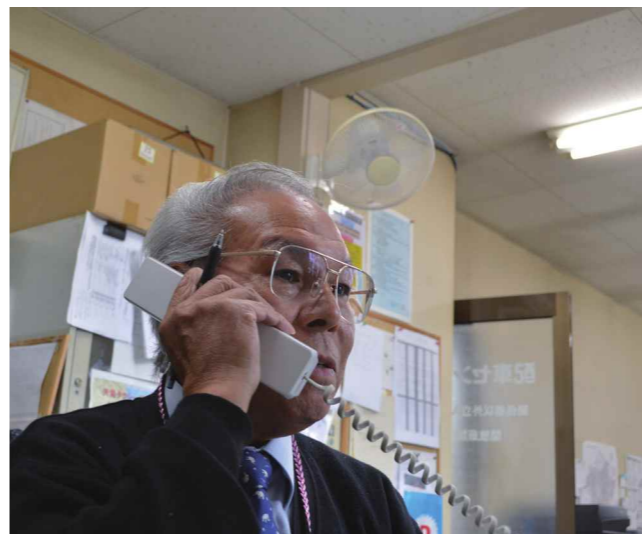
ベテラン乗務員の強みの一つは、熟練のお客さま対応である。高齢者のお客さまに対しても、配慮を欠かさず丁寧な対応をしていることから、運行開始の4月から8月上旬の取材時現在まで、乗客からのクレームはないという。地域の高齢者の安全安心を支える、大切な役割を担っている。

## ●事業を始めたきっかけ

平成26年の3月、大泉町営の循環バスが利用者の減少を受け、廃止。その後を矢島タクシーが運営するデマンドバスが請け負った。仕事をリタイア後、まだまだ仕事をしたい時間に余裕のあるシニアと、経験を活かしたい会社側との話し合いにより雇用形態が決まる。正社員と定時制（時短勤務）の二種に分かれ、定時制勤務は、年金を受け取りながらも可能。また、フルタイム勤務では体力的に厳しい人でも、勤務体制が整っているので、心配なく働ける。

一方、会社側も年齢でひとくくりに退職とはせず、元気で経験豊富な乗務員に継続して働いてもらうことで、有能な人材の研修や技術、知識の継承につなげている。

基本的には65歳が定年だが、本人が希望し乗務員としての適性が認められれば、定時制として継続勤務が可能である。また、年金の積立期間が不足している場合などは、正社員のまま勤務することもできる。現在、71歳と69歳の正社員がいる。他に定年前に正規雇用から定時制雇用へと切り替える道もあり、働く側の希望を尊重し、高齢者の能力と意欲を最大限に活かす柔軟な雇用形態となっている。



経験を活かし、シニア層が事務でも活躍



大泉町を走るデマンドバスと乗務員

## ●工夫している点・特長

人の命を預かる業務のため、乗務員の健康管理には特に気を使っている。年2回の健康診断をはじめ、65歳以上の乗務員に対して義務付けられている適性診断、また個別に、高血圧をはじめ高齢者が抱えがちな持病等に対しても気を配り、社員全員が安全に運転業務に当たれるように常に配慮。アルコールチェックも毎朝厳しく行っている。

また、65歳の定年後の正規乗務員としての就労や、定時制の就労に関しては、希望すれば誰でも無条件でOKという訳ではない。お客さまから苦情の多い乗務

員、健康面や精神面で適性に不安がある場合は、きちんと話をして再就労や延長を断る場合もある。

タクシー乗務員に若い人が集まりにくい背景もあり、ベテラン乗務員は力強い戦力。「運転の腕が素晴らしいし、若い人ではトラブルになってしまうようなことも、ベテランであれば対応できる」と会社側も頼りにしている。



## 〈やりがい・楽しみ〉

「40年近くドライバーをしています。この年齢だからお金云々よりも、地元に貢献できている、と感じられるのがやりがいですね」と語る60代の乗務員。また、別の乗務員は「会社の雰囲気も良く、定年を気にしなくてもいいのがあり

がたい」と言う。長年勤務している人が多いことから、働きやすい職場であることが伺える。運転が好きな人が多く、年齢を重ねても無理のない勤務をできることが、大きなやりがいになっているようだ。

## 基礎データ

☎0276-60-1212

株式会社 矢島タクシー  
(岩瀬川営業所)

事業開始時期/  
昭和29年(創業)

事業内容/  
タクシー、路線バス  
観光・スクールバス  
企業送迎バスなどの運行

人数・年齢/  
144名  
乗務員124名  
(65歳以上 27名)  
最高齢71歳